

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和6年1月9日 NO.19



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

◇2024年辰年◇



令和6年が明けました。旧年中は皆様方に大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年の干支は辰(たつ)です。十二支の動物の中では唯一の架空の生き物ですが、非常に縁起の良い神聖な生き物です。辰(たつ)は古くから中国では権力の象徴とされており、「正義」を表します。天高くのぼる竜に守られる辰年。「強運」や「お金に困らない」といった言い伝えがあります。

また龍の象徴する「力強さ」や「成功」を象徴しているので、新たな始まりやチャンスの年とされています。辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける年にしていきましょう。

始業式に先立ち、1月1日元旦の「令和6年能登半島地震について話をしました。

被災された方、被災地域の皆さんへお見舞いの意も込め、黙禱をしました。そして、余震は減ってきていますが、8日気象庁は「今後1ヶ月震度5以上の地震に気をつける必要がある」という、発表を出しました。粟ノ保っ子には、学校以外で地震が起こったときにどうするのか?を話しました。ブロック塀、屋根瓦、自動販売機など近くに倒れてくる危険物がないところで「しゃがむ」、カバンで頭をかくすなど伝えました。「自分の命は自分で守るしかない」ことを改めて指導しました。ご家庭でも何度でも教えてあげてください。

本来なら家族や帰省した親戚等の楽しい団らんの時間でしたが、午後16時6分の1度目の揺れで、少し収まったかに思えた瞬間、16時10分再び緊急地震速報のけたたましい音。更に大きな揺れで景色は一変してしまいました。今まで経験したことのない震度7の揺れで自宅、道路、鉄道はもちろん被害が出て、さらに津波警報。急いで高台に避難しなければならずパニック状態。

粟ノ保小も避難所となり、たくさんの方が不安な1日を過ごしました。2日夕方には、粟ノ保小避難所も閉鎖され、その後羽咋中へ移動となりました。

羽咋市内だけでなく、未だに避難所生活を余儀なくされている家族もいます。

被害に遭われた方全てにお見舞い申し上げます。今は非日常な生活で大変な時期です。学校で友だちと遊んだり学んだりして、楽しい笑顔のある生活をしていしましょう。まとめの3学期です。全ての方が元気を取り戻して、協力していくことが何より大切です。

気をつけること（登下校など）

- ◇ 「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」しゃがむ。
- ◇ かばん、バッグなどであたまを守る。
 - ・やねかわら、ガラス、看板の落下に注意
 - ・ブロックべい、電柱、電線、じどうはんばいき
 - ・自転車にのっていたらすぐにおりる。
 - ・バス、電車にのっている時、てすりにつかまる

裏面あります

◇3 学期始業式・校長の話◇ 1/9(火)

3学期の始業式を行いました。年が明け一人一人気持ちを新たに3学期がんばろうとしている粟ノ保っ子たちの顔。子ども達のために、学校、家庭、地域で同じ目線で応援していくことが大切です。今年度もよろしくお祈りします。

さて、校長の話を紹介します。「雑煮」を話題にしました。雑煮のモチは丸か、四角か。煮るか、焼くか。すまし汁か、白味噌か。

みなさんが食べているお雑煮のお餅
①丸い ②四角



そのお餅は、①煮る ②焼く



そのお餅は、
①白味噌の味噌汁 ②すまし汁



全部①なら関西で多く食べられている雑煮です。逆に全部②なら関東で多く食べられているようです。続いてクイズを出しました。

関西のお雑煮で、丸いお餅が使われているのは、なぜでしょうか？



関東のお雑煮で、お味噌を使わないのは、なぜでしょうか？



丸いお餅の由来は、円は丸いので世の中が円満になることを願っているそうです。また、関東で味噌を使わないのは、味噌を使わないとすまし汁になります。武士の世界では「すました顔」がかっこ良かったからこのようになります。雑煮は西と東ではずいぶんと違う話を子ども達にしました。全国でめずらしい雑煮も合わせて紹介しました。

鳥取県の小豆雑煮



香川県のあん餅雑煮



北海道お雑煮



最後は今年の干支辰年（たつ）について話をしました。難しい漢字もありますが、辰（たつ）・龍に関する四字熟語を粟ノ保っ子に紹介しました。

画竜点睛(がりょうてんせい)



【画竜点睛】がりょうてんせい



※「画竜点睛」＝完成するときに、最後に付け加える肝心な部分のこと。

物事の最も大切な部分のこと。

※竜の絵は瞳を書き入れなければ完成しませんし、瞳は竜の表情を決める最後の仕上げです。このことから、それがないと完成したことにはならない最後の大事な仕上げ、またほんの少し手を加えることで全体が引き立つという意味で使われます。

1年の最後の3学期です。1年のまとめの時期です。次年度への準備も含まれます。

粟ノ保っ子には、簡単なことと思えても最後まで気を抜かず、物事をしめくくる・成し遂げる人になってもらいたいと願う次第です。

